

平和の鐘を鳴らそう！

★参加費・申し込みは不要です。ご自由にご参加ください。



市民センター本館・玄関横に設置されている
「愛の鐘」（寄贈：芦屋市婦人会）

小雨
決行

◆とき 2023年 8月 15日(火)

＜式典＞ 11時45分～12時15分

＜平和のつどい＞ 12時30分～14時00分

◆ところ 芦屋市民センター（業平町8-24）ほか

＜式典＞ 市民センター本館玄関前

＜平和のつどい＞ リードあしや（公光町5-8）

※平和のつどいに参加された先着50名様に、
おにぎり・お茶をお持ち帰りいただきます。

式典・平和のつどい

芦屋ユネスコ協会 創立75周年記念

戦後78年目の夏、そしてロシアがウクライナへの侵攻を始めて2年目の夏を迎えます。戦争の惨禍を二度と繰り返さず、平和への貢献を提唱して誕生したのが「ユネスコ」です。ユネスコ憲章前文には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」との言葉があります。願い続け、語り継いでいかなければ、もろくも崩れ去ってしまうかもしれない「平和」一。

今年も8月15日(火)午前11時45分、芦屋市民センター本館の玄関前にご集合ください。みんなで、正午のサイレンに合わせて黙祷いたしましょう。そして、一人ひとりが「平和への祈りと願い」を込め、平和の鐘(愛の鐘)を高らかに鳴らしましょう！

ウクライナに平和が一日も早く戻りますように…

ウクライナから日本に避難されているアーティスト ユリア・ボンダレンコさんが、8歳の少女（小倉桂子さん）の被爆体験を紙芝居にした作品「ケイちゃんの消えない雲」を制作、広島に原爆が投下された8月6日にSNSで世界へと発信一。

世界の人々に、何年たっても消えない戦争の記憶、核の恐怖を訴えたいと願っています。

今夏の「平和のつどい」では、その作者 ユリア・ボンダレンコさんをお招きし、一緒にその紙芝居を鑑賞、心を一つにして平和への願いを明日へと語り継いでまいりましょう！

明日へ繋いでいきましょう！ 平和への願い

問い合わせ 芦屋ユネスコ協会事務局(芦屋市教育委員会 生涯学習課内) ☎ 0797-38-2091

◆主催：芦屋ユネスコ協会

◆共催：芦屋市・芦屋市教育委員会



平和の鐘を鳴らす運動

わたしの平和宣言



私は人類の未来、特に子どもたちの未来に対して責任があると思うからこそ、日々の生活の中で、家族と共にいる時、職場で働いている時、次のことを誓います。

1. 「すべての命を大切にします」

差別や偏見を持たないで、一人ひとりの生命と人権を尊重します。

2. 「どんな暴力も許しません」

積極的に非暴力を支持します。特に弱い立場にある幼児や青少年に向けられた身体への暴力、性的虐待、精神的苦痛などのあらゆる暴力を許しません。

3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」

社会的差別、不正、政治的・経済的抑圧をなくすために、思いやり、助け合う心で、奉仕活動を行います。

4. 「相手の立場に立って考えます」

狂信に陥ったり、他人を中傷したり拒絶したりしないで、いつも話し合いを優先させ、人の話を理解しようと努めることによって、表現の自由と文化の多様性を守ります。

5. 「かけがえのない地球環境を守ります」

生態系のバランスを保ち、すべての生命を尊重するよう行動し、自分の行動に責任を持つ消費者としての態度を心がけます。

6. 「みんなで力を合わせます」

男女が共に力を合わせ、民主的なやり方でいろいろな新しいことに取り組み、自分の暮らす地域のことに関心を持ち、よりよい地域づくりのために、いま、ここで、できることから始めます。

<(社)日本ユネスコ協会連盟 訳>

※ 「わたしの平和宣言」(MANIFESTO2000)はノーベル平和賞受賞者たちの起草した誓いです。

芦屋ユネスコ協会